



学校教育目標

自ら求めて学ぶ心豊かな生徒の育成

文責 長谷川 忍

## 第70回高瀬中学校体育祭

5月25日(土) 雲一つない青空のもと、第70回高瀬中学校体育祭を実施しました。今年度の体育祭は参観者の人数制限を行わなかったため、多くの保護者、来賓、関係者の皆様にお越しいただきました。

「RECONNECT～繋げ、新時代の挑戦者～」をテーマに、体育祭プロジェクトチーム中心に生徒主体の体育祭を成功させようと準備してきました。校舎の壁面には、美術部制作の垂れ幕(スローガン)も高々と掲げられました。

体育祭当日はどの演技も「獅子奮迅」のごとく、全校生ががむしゃらに取り組む姿が印象的でした。「全力だから見られるもの」の通り、全力で一生懸命に取り組む姿に感動しました。すべてに全力を尽くす生徒たち。後輩たちにかっこいい背中を見せ、憧れられる先輩たち…。高瀬中学校のよき伝統としてこれからも受け継いでいてほしいと願っています。また、競技だけではなく、一人一人が係活動、応援など、自己の役割に責任をもって活動していました。生徒たちの真剣なまなざし、笑顔、くやしい表情をたくさん見ることができました。



特に、学校のリーダーである3年生の頑張りが印象的でした。笑顔での挨拶、真剣に授業に取り組む姿勢、部活動での集中力など、普段から素敵な3年生だからこそ、体育祭という場でその成果が表れたのだと考えています。中でも『ソーラン Beat』でみせた熱い思いと一致団結したダンスは、観ている人に感動を与えてくれました。さらに、競技を支えるプロジェクトチームや役割分担でも自主的に動き、体育祭の中心となって運営してくれました。高校の伝統を繋いでくれた3年生に心から拍手を贈りたいと思います。この体育祭を通して学んだ規範意識(ルール)、連帯感、責任感をこれからの学校生活に活かしてくれることを期待しています。

また、運営に当たっては、PTA本部役員の皆様に支えていただいたからこそ、生徒も教職員も安心して体育祭に集中できました。学校・家庭・地域が一体となった教育活動の重要性を改めて実感しました。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

